

# 42 破天荒

令和 二年度版  
最終号

ついにこの日が来ました。創刊号で、タイトルのこと、学年団の先生の言葉などを見つめ直しながら、私はどんな三年後を描いていたか？自由登校前最後の学年集会でも言ったように、ストーリーを持って過ごした三年間ではありました。

ただ、私達の方ではどうにもならない外力、ハブニングもたくさん起きた三年間でもありました。

そんな中、本当によくここまで辿り着いてくれたと思います。ありがとう。相高四十二回生として、一つのけじめとなる今日の卒業式を、この先何度も振り返ることになります。時期、立場で感じ方も変わるとはありますが、それは今日を迎えることができたから、この先に生まれる楽しみでもあります。それを楽しむことができる権利者として、この先の未来を歩んでいって貰いたいと思います。

と、今日は感傷に多少浸ってもらって結構です。が、闘いは続いています。

国公立大学は、三月三日(水)桃の節句を皮切りに、三月十日(水)まで前期発表日が続きます。合否は別。次にやるべきことは、感傷に浸ることではなく、国公立大学出願者は中後期の準備を、私学三月入試受験を決意し、出願した者は、受けに行くことをノルマとせず、闘うための準備をしておくことです。あなたたちの受験に関する本当の権利は、国公立においては後期まで、私学においては三月入試まで与えられています。

あとわずか十日ほどの辛抱の先に、四月一、二日頃まで、合格連絡を受けるチャンスが残っていることを、実は多く語られていません。

私の後輩の中にも、四月一日に大学から補欠合格の連絡を受けて、「エイブルフル？」と疑ったエピソードを持つ者がいます。長距離エースとして、チームを引っ張り、農学部から、某大手製薬会社研究職に進みました。コロナウイルス禍による大変な今も、粘って得た縁により頑張っています。

前期発表の大きなヤマは、三月五日(金)から始まります。特に、六、七日の土、日曜日は、学校は休みのため、本来は連絡が付きませんが、担任の先生との約束は守ってください。

その後で、皆さんの結果を学校で受けることができるよう、職員室で電話が通じるようにして、待とうと思います。

合否結果が分かれば、一番に保護者の方へ連絡。次に、担任の先生に連絡。その後、学校に連絡を貰えたら嬉しいですね。

なお、卒業が縁の切れ目ではありません。中後期に向けても、相生高校をしつかり利用してください。まだ暫く四十二回生の闘いは続きます。

## 祝卒業

## 42回生の未来に光あれ

# 感謝

- ・この日を迎えられた、この日を迎えて頂いた、この日を共有できたすべての人、すべてのモノに感謝します。
- ・この日を迎えるにあたり、数多くの不安、不満、辛抱に虐げられながらも、この日のためにご協力をしていただいたすべての方々に感謝します。
- ・この日を感謝の気持ちで迎えられるようにしてくれた、多くの出来事、多くの困難、多くの支援、42回生だけでなく、苦楽を共にした世の高校三年生すべてに感謝します。
- ・この日を迎えるにあたり、毎日当たり前のようにあり続けてくれた、場を与え続けてくれた相生高校に感謝します。
- ・勇気を持って、自分の将来に光を求めてくれた、求め続けてくれた、42回生のみんなに感謝します。
- ・毎日、何かを訴えさせてくれる集団であった42回生の皆さんの陰で、3年間、毎日誰かの顔を思い描きながら、学年連絡白板に、私の想いを載せることができました。感謝します。
- ・皆さんのお陰で、3年間やり抜けたことがたくさん残ったことに感謝します。
- ・皆さんのお陰で、学校の中の多くのサポーターから、私達の知らない皆さんの顔、皆さんの他人に対する優しさを、教えてもらうことができました。感謝します。
- ・42回生が、高校3年生・受験生本来の闘う姿勢を忘れず、また、進路決定をした者も配慮を忘れず、今日の良き日を過ごしてくれることに感謝します。

さあ、旅立ちです。心の中で声高らかに。君たちの未来に幸あれ！！

# 校歌

相若こ相朝古 生人の生なき世 の高のぎにの き	相若こく入う 生人のろりぐ の高が海い きねにす の	相若こあ北白 生人のゆ山き の高帰の風 きる
相敬台松暁宿 生愛にの場の のそ緑雲の跡 念びも ゆ も	相創台つ出 生造にち船る のそ音のき 意び高ド声 気ゆく ラの	相自台川松瀬 生律にのの戸 のそせこの海 おびせせざより きて ゆらえを
相は学こたな 生ぐびれなつ 高く舎にびか 校まに和きし ん すてく	相つ学ここ絶 生ちびれだえ 高か舎にま間 校わに和しな ん すてく	相う学こさ吹 生ちびれやき 高た舎にが渡 校てに和せり ん すて

## お詫び

- ・入学式に預けていただいた全員で、この日を迎えられなかったことをお詫びします。
- ・「こんなはずじゃなかった」と、この日を迎えさせてしまった人にお詫びします。
- ・生きる力や、真摯に相手と向かい合う心を、身につけさせてやるができなかった人にお詫びをします。
- ・闘い方を備えさせてやれなかった人にお詫びをします。
- ・生涯、相生高校を誇ることができないと、この日を迎えさせてしまった人にお詫びします。
- ・特に最後の一年、どうにもならない社会環境の中に巻き込んでしまったことをお詫びします。

ただ、そんな状況でさえ 42 回生の皆さんは、今日という日を立派に迎えることができました。

将来、何処かのタイミングで、そんな高校生活を送った相生高校を誇りに持てる日を信じて、精進を重ねてくれることを祈ります。

## 業務連絡

前号でお伝えした通り、授業料・学年費等を納める口座は、まだ閉じずにおいて下さっています。口座を閉じられる場合は、三月一日以降に、学年会費等の返金分入金を確認したあとに、よろしくお願ひします。

三月一日を過ぎると、卒業証明書、調査書等の発行は有料となります。既に必要と分かっている分については、必ず今日中に、申し出を済ませて頂ければ無料での発行ができます。

体育館シューズ、スリッパは、持ち帰って処分してください。明日より登校の際は、来客用スリッパを利用すること。置いて帰っている者、不当に廃棄して帰っている者については、連絡して取りに来てもらいます。最後に跡を汚さぬこと。

## 今後の当面の予定

三月十六日には、後輩たちに向け合格体験発表会があります。依頼した生徒、依頼する生徒は、協力をしてください。

あなたたちも、一年生の時に参加させていたいただいた会です。

まだ、入試も発表も残している生徒もいます。しかし、それも含めた未来予想図を、この先書き加えていってください。

あらためて、卒業おめでとう。これにて、学年通信破天荒は閉刊致します。三年間、付き合ってくれてありがとう。

なお、後日、卒業式関係のDVDを郵送します。その中に、皆さんにお返ししなければいけないものも一つ忍ばせて頂きます。取り出しをお忘れなきように。